

## ドライバーの運転意識とヒヤリ・ハット体験との関連に関する調査研究（平成6年度）

交通事故の発生の裏には多くのヒヤリ・ハット体験が存在し、ヒヤリ・ハット体験を無くすることが事故防止のキーポイントとなっている。このため、ドライバーの運転意識が日常の運転行動の中でどのようなヒヤリ・ハット体験と関連しているのか調査分析し、その成果を各種講習の場における安全教育に活用することが必要である。そこで、これらの活動のための基礎資料を得ることを目的として、今年度は特に高齢運転者を対象にヒヤリ・ハット体験と運転意識の関連について分析した。

- ① 運転免許を所有している60歳以上の男性4,300名（回答数2,920名）を対象にアンケートを行った。運転意識に関する22の設問で否定的な回答の多い項目は、「一時停止の場所でも、見通しがよければ止まらないことが多い」（91.7%）、「前の車についていけば安心して右左折できる」（91.1%）、「運転中にイライラすることが多い」（89.6%）、「車の運転で迷惑をかけるのはお互いさまだ」（88.4%）、「駐車禁止でも、他の車の迷惑になりそうでなければ駐車する」（88.1%）等であった。逆に、肯定的な回答の多い項目は、「どんな運転者でも、事故になりかけてヒヤリとすることはよくあるものだ」（85.7%）、「運転に危険はつきものである」（79.6%）、「自分は感情の変化は少なく、いつも冷静でいられる」（57.2%）であった。なお、運転がうまいとする回答は61.8%で、年齢が高いほどその比率は低い。
- ② これらの設問に因子分析を適用すると、攻撃的傾向、漫然・脇見運転傾向、違反容認傾向、運転への価値傾斜傾向、依存的傾向、危険容認傾向の6因子が抽出された（表）。年齢が高いほど強まっているのは運転への価値傾斜、依存的傾向、危険容認傾向で、逆に弱まっているのは攻撃的傾向、漫然・脇見運転傾向である。運転頻度が高い方が強いのは攻撃的傾向、漫然・脇見運転傾向、運転への価値傾斜で、その逆は依存傾向である。走行距離が長くなると強くなるのは漫然・脇見運転傾向で、その逆は依存的傾向である。また、攻撃的傾向、漫然・脇見運転傾向、違反容認傾向が強いほど事故・違反者比率が高い。
- ③ ヒヤリ・ハット体験者比率は、「人や自転車がとびだしてきて事故になりそうになった」経験者が49.3%、「前車が急ブレーキをかけて事故になりそうになった」が36.9%、「前車に接近しすぎて追突しそうになった」が30.6%、「交差点で出合頭に車や自転車と接触しそうになった」が30.6%、「バックしていて事故になりそうになった」が30.1%、「車線変更時に他車と接触しそうになった」が23.3%等である。ヒヤリ・ハット体験の原因が自分側にあるとする比率が高いのは、「バックしていて事故になりそうになった」96.7%、「信号待ちや駐車中の車に追突しそうになった」96.4%、「前車に接近しすぎて追突しそうになった」94.7%、「車線変更時に他車と接触しそうになった」90.2%であり、年齢が高いほどその比率が高い。
- ④ 15項目のヒヤリ・ハット体験のうち、12項目で事故・違反者の方がヒヤリ・ハット経験比率が高い。また、運転意識の6因子の中でヒヤリ・ハット体験ともっとも関連が強いのは漫然・脇見運転傾向の因子で、以下、攻撃的傾向、依存的傾向、違反容認傾向と続いている。
- ⑤ 高齢者の走行距離あたりの事故率が高いことと今回の調査結果とを総合すると、今後の高齢運転者教育の課題は、ヒヤリ・ハット体験を生かした安全運転教育の実施、高齢運転者の運転意識に応じた指導、高齢運転者の能力に応じた指導体制の整備、高齢運転者教育の場の拡大と指導者の育成、高齢運転者教育のマニュアルづくりであろう。

表 運転意識の因子分析結果

質問項目	FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	FACTOR6
前の車もたもたしていると、腹がたつ	0.64812	0.06193	0.15667	0.02528	0.01627	0.12654
他の車に追い越されるのは、気分のいいものではない	0.57774	0.12209	0.10300	0.09620	0.04568	0.12390
ほかの車に並ばれると先に出たくなる	0.55574	0.13912	0.20527	0.07411	0.02593	-0.01552
運転中は歩行者や自転車をじゃまに思う	0.43174	0.08251	0.30198	0.00743	0.07608	0.10254
運転中にイライラすることが多い	0.40669	0.33383	0.09675	0.06815	0.09647	0.00781
割り込まれないように、あまり車間距離をあげないで走っている	0.32796	0.16740	0.16766	0.09129	0.26676	0.03840
運転中にぼんやりしてしまうことがある	0.12600	0.69456	0.02604	0.05587	0.10625	0.07957
脇見運転をすることがある	0.12512	0.67219	0.05106	0.01001	0.13117	0.08291
一時停止の場所でも、見通しがよければ止まらないことが多い	0.15715	0.34435	0.28126	-0.05493	0.19404	-0.07579
車の運転で多少人に迷惑をかけるのはお互いさまだ	0.15694	0.09299	0.43017	0.10781	0.07051	0.04231
事故をおこすのは運が悪いからだ	0.06234	0.01076	0.36859	0.02891	0.09110	0.13161
違反をすることと事故の発生には、あまり関係はない	0.12623	0.04781	0.36627	0.04567	0.07256	0.04132
10キロメートル程度のスピードオーバーであれば危険はない	0.31096	0.05202	0.32208	0.07879	0.14273	0.05416
駐車禁止でも、他の車の迷惑になりそうであれば駐車する	0.20483	0.27506	0.30651	-0.03309	0.16794	-0.04054
車は、単なる移動の手段にすぎない	0.14489	-0.00096	0.21642	-0.13262	0.03986	0.09330
運転は自分の生きがいの1つである	0.04647	0.04631	0.07587	0.77141	0.09516	0.07892
目的がなくとも、運転することじたいが楽しい	0.12600	0.00333	0.03893	0.48654	-0.01265	0.02486
前の車についていけば安心して右左折できる	0.13222	0.18366	0.11723	-0.04216	0.63967	-0.01247
他の車が道を譲ってくれるので、進路変更の時にあまり神経質になることはない	0.06824	0.20554	0.22039	0.08195	0.49130	0.02395
自分は感情の変化は少なく、いつでも冷静でいられる	-0.09488	-0.02875	0.09263	0.06459	0.13163	0.12709
運転に危険はつきものである	0.11113	0.01829	0.10419	-0.00197	-0.03217	0.56795
どんな運転者でも、事故になりかけてヒヤリとすることがよくあるものだ	0.10443	0.07935	0.07138	0.06191	0.03558	0.50948